

東京都議会議員選挙(杉並区選挙区)選挙公報

(定数6人)

東京都選挙管理委員会

「命と暮らしが第一」の都政を!

- 長妻昭元秘書としての経験**
 - 杉並区議としての実績**
 - 一児のパパとしての責任**
 - 将来世代としての若い感性**
- 1 東京オリンピック・パラリンピックより新型コロナ対策へ全力を!
 - 2 現役子育てパパだからこそ、当事者目線の子育て・教育政策実現を!
 - 3 人の暮らしに根付いた社会保障の再建を!
 - 4 気候危機に立ち向かうエネルギー改革を!
 - 5 不正を許さない透明性の高い「まっとうな政治」を!

東京の新型コロナ対策まだまだやれることがある!

- 東京都が、国と杉並区とのハブになり、公正で迅速なワクチン接種を実現する!
- PCR検査を社会的検査として拡大! ●新型コロナ専用の仮設病床の建設を!
- 都立病院の独立行政法人化へ反対し、機能強化へ!

関口健太郎さんを応援しています!

衆議院議員 **長妻 昭**

立憲民主党代表 **枝野 幸男**

東京8区総支部長 **吉田はるみ**

立憲民主党 りっけん

もっと詳しく知りたい方は
検索

https://www.ksekiguchi.info



関口 健太郎

立憲民主党 29歳

市川ヒロシの約束

プロフィール

イベント企画会社経営
一般社団法人ギルティ理事
空手初段



- ◆ 庶民と動物に優しい東京に
- ◆ 都にアニマルポリスの設置
- ◆ 自粛要請の緩和

市川 ヒロシ

庶民と動物の会

59歳

いまこそ東京を生活のまちに

必要なのは住まいと職、医療・介護・教育の充実です。

パンデミックの最中、理性の声を発信した世界の女性リーダーたち。日本では情報隠しと私物化の横行する政治が民主主義を後退させています。ジェンダー不平等を脱却し多様な生活都市への「社会変革」ができれば東京に未来はありません。小松久子は安心・共生・自治の東京をつくっていきます。

- 一応援します
- 中川 李枝子 (児童文学作家)
 - 杉田 敦 (法政大学教授)
 - 保坂 展人 (世田谷区長)
 - 三木 由希子 (NPO法人情報公開クリアリングハウス)
 - 樋口 恵子 (評論家)
 - 増田 和美 (生活クラブ生活協同組合理事長)
 - 藤田 愛子 (元都議会議員)
 - そね 文子 (杉並区議会議員)
 - 奥田 雅子 (杉並区議会議員)
- 推せんします
- 立憲民主党**
- 地味ひつこく生きる **緑の党** グリーンズ

小松久子

東京・生活者ネットワーク

小松久子の提案

- 新型コロナ 給付型所得補償で命と生活を守る
- 感染症対策/保健所機能を強化、医師・保健師を増やす
- 原発ゼロ/「省エネ」「再エネ」による脱炭素で温暖化をストップ
- 東京都子ども基本条例を生かすのはこれから!
- 子育ては社会のごと!
- 高齢者も障がい者もその人らしく生きられる地域に
- 介護する人をささえるケアラー支援条例をつくる
- ジェンダー平等と多様性が社会を強くする
- 食の安全が第一! 都市農業を守り育てる

やまもと たろう

れいわ **山本太郎** 全力応援

新選組代表

やまな **岩かなこ** に一票を!

プロフィール

大阪府泉大津市出身。同志社女子大学、同志社大学大学院卒業。米国テンプル大学に留学しジェンダー史を研究。ライザップ・イングリッシュ株式会社において労働組合を設立。NPO法人を設立し、女性が日常的に感じる生きづらさを共有するイベントを主催。NPO 法人代表理事。大学講師。

都議会にれいわを!

東京五輪中止は当たり前、コロナを「災害指定」に

あなたに10万円給付、事業者へ損失補償

徹底! 下水PCRなどのコロナ対策

誰もが生きやすい東京へ



山名 かなこ

れいわ新選組 公認

東京の「いのち」を守る。

東京都が発した首都直下地震の被害想定での、杉並区の被害は次の通りです。

- 死者の75%が焼死 (566人中416人)
- 建物の20%が全焼 (11万6000棟中2万3000棟)

つまりいのちを守るためには、食料備蓄ではなく火災対策こそが重要なのです。しかし、このことに対する理解と対策は進んでいません。加えて「災害関連死」という新たな課題もあります。コロナ対策の充実はもちろんですが、それにかまけて地震対策や豪雨対策を怠ってはなりません。

私はこれからも「いのちを守る防災」に全力で取り組みます。

早坂よしひろ

自良党 公認

早坂よしひろのプロフィール

- 1968.11.27 茨城の東京衛生病院生まれ
- 杉並区立西田小・松浜中卒業、大検合格
- 立教大学卒業、明治大学大学院修了
- 防災士研修センターを設立(代表取締役)
- 東京都議会議員(現在4期目)
- 都議会で予算特別委員長など歴任
- 明治大学客員研究員

自粛に反対! 飲食文化を守ろう

飲食店に営業時間短縮、休業、酒類の販売自粛を要請していますがそれらが感染症の対策になる科学的根拠を、行政は示していません

● 笑顔で食事を楽しもう!

● 病気になるのは「コロナのせいじゃない!」

● 今本当に緊急事態? 時短必要?

● 中根じゅんプロフィール



中根じゅん

国民民主権党

東京都議会議員選挙(杉並区選挙区)選挙公報

(定数6人)

東京都選挙管理委員会



一人一人の声を大切に、10年。 安全で活力ある、人にやさしいまちづくり

五輪準備で得たものを活かす、まちづくり
都立特別支援学校を活用して障害者スポーツができる環境を整備しました。今後は様々なスポーツ活動の促進を図るとともに日本文化の発信に努めます。

女性をささげる、まちづくり
杉並区待機児童ゼロを達成。今後は保育の質を高めるとともに、女性のニーズに応じた保育所の運営を支援し、小学生の居場所学習クラブの充実を図ります。

高齢者が元氣な、まちづくり
高井戸の浴風舎に認知症疾患医療センターを設置し、認知症の早期発見・早期治療につなげました。今後は、介護予防を充実させるとともに、介護人材の確保を支援します。

子供を守り育む、まちづくり
通学路や商店街に防犯カメラを増設し、子供や地域の見守りを強化しました。今後は町会・自治会・NPOへの支援により、子ども食堂など多世代で集える場をつくり出します。

水害に強い、まちづくり
豪雨で溢れた川の水を貯える調節池を整備し、善福寺川の治水安全度は65%から88%に向上しました。阿佐ヶ谷・天沼地区には下水の貯留管を整備し、浸水被害を軽減します。

地震に強い、まちづくり
環七や中杉通りの無電柱化を実現しました。今後は狭い道に保通所など道幅の狭い区道で無電柱化を実施し、災害に強く歩きやすいまちを目指します。



自民党公認
小宮あんり 45歳

コロナ対策の成果

- PCR検査数の拡大
- 搬送体制の強化
- 医療機関への支援
- 接種会場の増設

プロフィール 昭和51年6月6日生。東京農大三高、上智大学文学部史学科卒。中学では陸上部、高校ではゴルフ部、大学では体育会自動車部に所属。大学卒業後、衆議院議員石原伸晃事務所で政治の現場を学ぶ。平成23年、杉並区初の女性公認候補として、東京都議会議員に初当選。令和元年、都議会自民党政調会長に就任し、初の党三役入り。現在、厚生委員会委員、東京都保健医療公社評議員、東京都住宅政策審議会委員。

すべての人に優しい東京へ

実現しました コロナ禍から都民の命と生活を守る
専用病床や宿泊療養施設を拡充し、後遺症相談窓口を都立病院に開設。パルスオキシメーターを貸与。プレミアム付き商品券の発行を実現。ワフチン接種を推進。シルバーパス更新手続きを郵送に。

善福寺川調節池の設置を実現
2005年に起きた集中豪雨の被災現場での体験から、「二度とあのような被害を起こしたくない」と一貫して水害対策に尽力。善福寺川上流部に約30万トンの調節池の設置を推進(今年度基本設計予定)。

「身切る改革」で財源を生み出す
議員報酬20%削減、公務活動費減額、費用弁償制度の廃止など都議会の身を切る改革を断行。4年間で27億円の経費を削減し、都のコロナ対策などの財源に。

政策 **チャレンジ8《3つの無償化》**

- 第2子の保育料無償化**
2歳までの保育料は第2子半額、第3子無償化を実現(2019年10月)。今後は第2子も無償化します!
- 高校3年生までの医療費無償化**
子ども医療費の助成について、全国屈指の水準をめざし、都内全ての区市町村で高校3年生まで無償にします。(所得制限あり)
- 肺炎球菌ワクチン無償化**
高齢者の肺炎を予防する肺炎球菌ワクチン。接種費用への2500円助成を実現。さらに無償化をめざします。
- がん治療に重粒子線の導入**
- 駅ホームドアの整備**
- 高速道路上の料金所を撤廃**
- 保護付き動物愛護センターを新設**
- 豪雨に備える地下調節池の設置**

私も推薦します

政治評論家 森田 実	作家 佐藤 優
社会福祉法人副理事長 河北 博文	杉並区長 田中 良

東京都副都政務委員
村中 志朗

●プロフィール 公明党本部女性局長。都議会党政務調査会長代行。都議4期。創価大学卒。 ホームページ **公明党**



たまご
多美子

ももせと刷新! 混迷する政治を大胆に改革 38歳 元衆議院議員

① 中間所得層の躍進政策
～公的機関の既得権益にメスを入れ、民間活力を最大化～
富裕層優遇策やコロナ禍で中間所得層は細り続けてきました。明日の日本を担う層は中間所得層が元気になる政策を多々主張して参ります!

- 都営地下鉄・東京メトロを一体化・民営化
- 都営住宅・URの民営化とファッションビルな新エリアの創造
- 世界一移動しやすい次世代交通システムの構築
- 官民連携による魅力的な公園づくり など

② 未来を担う子どもたちへの投資
～教育立国を東京から実現～
コロナにより突然の休校を迫られたり、学習方法の変更を余儀なくされる子どもたち。ピンチをチャンスに変える政策を多々主張して参ります!

- オンライン授業の推進
- 画一的・無機質な授業から主体的・習熟度別の授業へ
- 大学卒業までの教育無償化に向けた先進的取組
- 公立学校の運営を民間委託、先生は教育に集中 など

③ 確かなコロナ対応と徹底検証
～次なるパンデミックへの備えとともに～
コロナ感染者が確認されたからの一年数か月。行政不手際をめぐり、「説明が不十分」「もはや緊急事態宣言に実効性がない」「休業補償が全く足りない」「ワクチン接種が一方向に進まない」など、様々な怒りの声が上がりました。見直しをもって明確に「やるべきことはやる」と言い、煩雑で複雑、官僚的な手続きは廃し、浮き彫りになった課題に積極的に取り組む政治をつくって参ります。

Profile
1983年生まれ38歳 長野県出身
中央大学法学部卒業 上智大学法科大学院修了
学習塾経営 地方議会議員選挙にてトップ当選
元衆議院議員 総務委員・国土交通委員・環境委員など歴任

若さと実績

日本維新の会

https://momose-tomoyuki.com



ももせ
智之

都民ファーストの会公認 東京を守る責任。時計の針を戻させない。 (都ファ4年間で、都議会の議会活力度は45位→8位へ急上昇)

コロナ後の経済的復興・雇用創出(東京版ニューディール)
コロナによる離職者、生活困窮者への大規模な雇用創出策として都が主導し、失業者とコロナ禍での好業績業種とのマッチング・職種転換サポートを推進します。

事業者・医療従事者への金銭的なサポート(〃)
ずっと我慢してきた飲食店などの事業者や過酷な環境の医療従事者へ、事業継続のための資金サポートを拡充します。

都民のために、行政手続の簡素化・デジタル化(行政DX)
ドイツでは「わずか2日」で事業者への給付金が支給された一方、日本では行政手続のデジタル化の遅れが原因で2ヶ月経っても支払いができないケースが散見されました。有事の際に迅速なサービスが提供できるよう、行政サービスのデジタル化を徹底します。

杉並の文化・芸術と融合した、循環型街づくり(スマートシティ)
都心部へ通勤して働くスタイルが減少しました。都のスマートシティ構想で、すぎなみの地域内でも何もかもが完結する、より子育てしやすい街、心豊かに働ける街、いきいき長寿の街、エコ・循環型の街づくりを牽引します。

100歳まで生き生きと暮らせる東京(人生100年時代)
認知症対策の強化など介護・医療体制の改善に加え、シニア就労支援、「100歳大学」創設など従来の常識に囚われない、最期まで尊厳のある生き方ができる地域包括ケアを実現します。

4年間の実績

- 杉並の医療従事者の声からコロナ禍で地域医療を支える病院への財政支援を実現
- コロナ禍での出産家庭への10万円支給を主導(日経2020/2/25)
- ハンディがある人でも活躍できる職場ソーシャルファームの創出(日経2019/11/15)
- 東京の技術力のある中小企業、スタートアップの育成環境を整備(日経2018/12/12、産経2018/12/13)

杉並区浜田山在住。1975年生まれ(45歳)。一児の母。東京大学農学部卒業。ベンチャー企業、日本アイ・ビー・エム(株)、アクセンチュア(株)などを経て、娘が5歳のときに独立・起業。2016年小池百合子の政経塾「希望の塾」参加を機に政治への問題意識が高まり、2017年に都議会議員に初当選。現在、都議会議員として環境建設委員会・理事、都民ファーストの会・女性活躍推進本部部長として従事。

公式サイト <https://a-kayo.com/> @k_akanegakubo LINE @788eigqw akanegakubokayoko



都民ファーストの会公認
あかねがくぼ
かよ子

明るく豊かな健康長寿 TOKYO へ。 ～予防医療の研究経験と使命感、企業役員を経営感覚で着実に導きます～

実績 1 都民の健康高める「ヘルスケア産業」育成を後押し
東京都産業技術研究センター内にヘルスケア産業支援室の新設(2020年)、都立食品技術センターとの統合(2021年)に尽力しました。健康長寿TOKYOにつながる成果創出をさらにサポートしていきます。

実績 2 「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」制定
国に先駆けて「東京都受動喫煙防止条例」制定(2018年)につなげました。国の基準より厳しい内容で、「望まない受動喫煙を防ぐ」という考え方、特に弱い立場にある従業員の健康を守りたいという思いが込められています。

政策 1 「コロナ」からの復興 持続的な暮らしと経済の早期回復を
新型コロナウイルス感染症の収束に向けて、「新しい日常」の定着、暮らしと経済を持続的にする支援策を進め、多様性と包摂性にあふれた東京の早期実現に尽力します。

政策 2 がん対策・フレイル対策 健康増進や予防医療の推進
早期の発見と治療で克服できるがん対策を進め、地域社会と一体となって、がんとの共生社会をつくり出します。女性特有のがん対策にも力を入れ、要介護にならないフレイル対策や働く世代の健康増進・病気予防策を進めます。

ピンチも課題もチャンスに変わる
東京は世界的にも超高齢化が進む先進地です。高齢化で生まれる様々な課題を否定的にとらえるのではなく、乗り越えてソリューション(解決策)を見出す。経済的にも果実をもたらしてくれるアドバンテージ(利点)になります。医学博士、客員教授、会社役員として積んできた経験を生かして、予防医療や受動喫煙対策などを推進し、がんにならない健康長寿TOKYOを都民の皆様と一緒につくり上げるために、全力で取り組みます。首都からの新たな価値の創造にこだわり、都民の皆様や国内外で喜ばれる成果をめざします。

PROFILE
昭和45年(1970年)7月24日生まれ、50歳
元 大手医薬食品化粧品メーカー取締役研究所長
元 東京医科大学客員教授
慶應義塾大学博士(医学)、合気道初段

鳥居こうすけ 公式ホームページ



都民ファーストの会公認
鳥居こうすけ

オリンピックは中止 コロナ対策に集中

- コロナ対策(希望者全員に安全・迅速なワクチン接種、PCR検査の大規模拡充、影響を受けている事業者や医療機関への十分な補償)
- 国保料の引き下げ、子どもの保険料はゼロに
- 保健所の増設、都立病院の独立法人化ストップ
- 補聴器購入への助成
- ジェンダー平等社会の実現
- 1m1.5億円の外環道や住民追い出しの優先整備路線補助132・133・221号線の中止

推薦

作家 雨宮 処凛	元日弁連 会長 宇都宮 健児	作家 川嶋みどり	日本赤十字看護大学名誉教授 山本 洋子
--------------------	--------------------------	--------------------	-------------------------------

◆1975年杉並生まれ 杉2小・東田中・都立武蔵丘高・東京学芸大学障害児教育学科卒業 ◆西田小、済美小などで非常勤講師 ◆2003年杉並区議会議員当選(4期) 2017年東京都議会議員当選 ◆原水爆禁止杉並協議会理事 家族は妻と1女1男

ストップ9条改憲



日本共産党
原田あきら

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)